

競技上の注意

- 1 競技は現行のソフトテニスハンドブックおよび大会開催要項による。試合は全て7ゲームマッチとする。ただし、悪天候の場合は5ゲームマッチもあり得る。
- 2 コート割り並びに進行は別表のとおりであるが、雨天その他やむを得ない事情で変更することがあるので、本部からの放送には十分注意すること。
- 3 進行に協力するため、次のことを守ること。
試合前の呼び出しは原則として行わないので、進行について十分注意し、次試合のプレーヤーは所定ベンチに入ること。
- 4 ベンチ入りおよび指導者（監督または外部指導者）について
 - (1) 団体戦・個人戦ともに指導者（監督または外部指導者）1名のベンチ入りを認める。ただし、B登録の外部指導者は複数校のベンチ入りはできない。
 - 団体戦を2面同時展開で行う場合は、ベンチは中央に置く。（1試合が残った時点でベンチを移動してもよい。）
 - 個人戦で2ペア以上出場し、同時にマッチが行われている場合は、ベンチ入り指導者（監督または外部指導者）は、途中からのベンチ入りを認める。また、ベンチ入り指導者（監督または外部指導者）がベンチを移動して助言することができる。ただし、一度離れたベンチに再び戻ることはできない。
 - (2) マッチ中に選手に助言する場合は、サイドのチェンジおよびファイナルゲームに入る前のインターバルの1分以内（ヒートルール適用時は3分以内）とし、ベンチ入り指導者（監督または外部指導者）が所定のベンチで行う。なお、それ以外の監督・外部指導者および応援者による指示（ブロックサイン等を含む）は禁止する。
 - (3) フェンス内の指定の位置に入れる者は、
 - ①団体戦は登録選手と指導者（監督または外部指導者）1名のみとする。
 - ②個人戦は対戦中の選手の指導者（監督または外部指導者）1名と待機選手のみとする。
 - (4) 指導者（監督または外部指導者）は団体戦において、アンパイヤー（審判）に対する質問ができる（個人戦は一切不可）。
 - (5) 服装はスポーツウェアを着用し、必ずテニスシューズを履くこと。
- 5 競技について
 - (1) ベンチは番号の若い学校（プレーヤー）が、正審より見て左側とする。
 - (2) マッチ開始前の練習は1分以内とする。
 - (3) 給水は、各ゲームの終了時、および、ファイナルゲーム中のチェンジサイズ時に認める。4の（2）の助言が認められている時間はベンチ付近で、それ以外は審判台の付近で給水する。審判台の付近での給水の場合、給水容器等はあらかじめ選手が自分で審判台の下に置いておくものとする。また、審判台付近での給水の際は、給水のみを速やかに行い、打ち合わせなどはしないこと。
 - (4) 会場での気温（乾球温度）が35℃以上となり、ファイナルゲームとなった場合、ファイナルゲームに入る前に3分間の休憩を許可する。なお、3分間の助言も認める。（本大会適用ルール）
 - (5) 会場でのWBGT計が31℃以上となった場合は、マッチの最中であっても大会本部の判断により中断することがありえる。その場合、マッチ再開前に練習を1分以内で認める。
- 6 審判上の注意
 - (1) マッチ中はアンパイヤーの指示に従いプレーすること。
 - (2) マッチ中は連続的にプレーすること。（パートナー同士の打ち合わせは、マッチの進行に支障がある状態で行うことは認められていない。）
 - (3) 個人戦の応援は、声をそろえての応援は行わない。
 - (4) 団体戦の応援は、声をそろえての応援を認める。

- (5) 以下のような行為があった場合、選手・ベンチ入り指導者（監督または外部指導者）は「警告」の対象、応援団は「注意の喚起（または退場）」の対象となる。
- 過度のかけ声、相手を不快にさせる発声、威圧的な発声や動作（相手に向かってのガッツポーズなど）など。また、アンパイヤーのコールを妨げたり、プレーやマッチの進行に支障をおよぼしたりするような行為。
 - ベンチ・応援団からの助言（次のプレーに関わる内容の指示・かけ声）

7 その他

- (1) コート内へのクーラーボックスの持ち込みを認める。
- (2) マッチ中、コート内で通信機器等や小型扇風機等の電気機器を使用することはできない。
- (3) ベンチ入り指導者（監督またはコーチ）及び選手の傘（日傘を含む）のコート内での使用を認める。ただし、傘の色は、日光などを反射して試合に支障をきたす恐れがあるもの（白・銀色等）は認めない。（コート外の応援者・観戦者も、これに準ずる）
- (4) 部旗や応援横断幕の掲出は行わない。

「服装・用具の規定」

1 選手

競技中及び開始式・表彰式では次のとおりとする。

- (1) ユニフォームは、(公財)日本ソフトテニス連盟の着用基準を満たしたものとす。ただし、学校指定の体操服は可とする。
- (2) サポーター・テーピング、アンダーシャツやアンダータイツ等の使用や着用を認める。
- (3) シューズは、テニスシューズを着用する。ただし、体育館では室内用シューズに履き替える。
- (4) 大会要項の「ゼッケン規定」に従い選手ゼッケンを付ける。

2 監督・外部指導者（コーチ）

ベンチ入り及び開始式・表彰式では次のとおりとする。

- (1) 上下ともスポーツウェアを着用する。
- (2) シューズは、テニスシューズを着用する。ただし、体育館では室内用シューズに履き替える。

〈服装・用具等についての補足〉

- (1) 服装・用具は、不要な装飾をしない。
- (2) シャツの袖をまくったり、ズボンを下げて履いたりしない。（熱中症対策のため裾出しは可）
- (3) 靴や靴紐などを意図的に色違いにしない。
- (4) ユニフォームやキャップ・サンバイザーなどは、文言や記号を後から記入もしくは印刷したり、リボンやワッペンなどの装飾を付けたりして使用してはいけない。ただし、端の部分に小さく「チーム名・名前」を記入してもよい。
- (5) アンダーシャツ・アンダータイツ（ステッチも含めて）、サポーター、テーピングを使用する場合、その色は、白・黒・ベージュの単色とする。
- (6) 選手の腕などへのペイント・文字の書き込み、磁気ネックレス、装飾品（ミサンガなど）、腕時計の使用は禁止する。
- (7) 特別な医療器具を使用するときには、所定の「医療用具使用届」に必要事項を記入し監督会議前に提出する。